

2023.2月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

「自信と誇り！」

2023年もはや2月。日も少し長くなり、早春の光が気持ちをゆさぶります。寒さはピーク、でも陽ざしは春めく、このギャップが心をざわつかせるようです。「ちょうど今そんな風です」という方は、それも「緊張感がでて、いいわ」という程度に受けとめましょう。なんなら、プラスにかえるようなこと、日頃はしないことをしてみるのもいい。例えば、旧友に手紙を書く、あまり読んだことのない分野の本を読む、持ち物の大整理をする、など等です。

さて、2月の『チャレンジ再発見—思いのほかあなたを拓くアプローチ—』は、「自信と誇りの宿し方」です。自分の想うこと、願うことにチャレンジして実現させる、それだけで自信はつくものですが、でもどうでしょう、〈腰の据わった〉自信でしょうか、まだ熟してない〈未熟〉な自信ではないでしょうか。

想いを実現させた、これを一度目の〈大変〉なアプローチだとすると、あと二度、「最善をつくした」、「打ち込んだ」、「やり抜いた」と自分でふり返るほどのアプローチをする。そうすれば、誰に自慢するわけではなく、自然に自分自身の内々に「自信と誇り」、つまり「自負」が沁みわたります。腰のすわった、成熟した自信と誇りがやどります。

“二度もまた大変なことを?!”と腰がひけてしまう方もいらっしゃるかもしれません。でも実際に一度目を果たした方は、思い当たりませんか? 思い切っってやりたいことをやり始めたものの、しばらくすると、自分に足りないものを実感する。

もっと深い知識または技能、はたまた「実績」等々。おのずと二度目の〈大変〉、重大な課題が浮かび上がってくる。

例えば、音楽で人も自分もしあわせにしたいと想い、音楽科に挑んで合格、国内コンクールで入賞もはたし、卒業と同時にソリスト宣言して活動を始めた。でも、実際に〈食べて行く〉のは至難のわざ。そこで世界の著名コンクールでの上位入賞を自分に課す。これが二度目の大変なアプローチにあたるのではないのでしょうか。

二度あることは三度ある、ではありませんが、第一線で活躍する間は二度目のアプローチをやり抜けば十分かもしれません。しかし、人もコトもライフサイクルがあります、自分の代で「有終の美」を飾るか、それとも新しいライフサイクルをつくるか。またまたおのずと三度目の課題が出てくるのです。

二度目のアプローチをやり抜いてしばらくすると何かの拍子に、自身の内々に「自信と誇り」がふわっと立ち上がっているのを感じる時がきます。三度目となると、その途中の早い段階で、成熟した「自信と誇り」がしっかりと腰をおろしていることに気づくでしょう。想いをカタチにして、それをよりよくしようと奮闘してきた、あなたの努力の賜物です。

さあ立春2月、「女性チャレンジ応援拠点」もうまく活用して、あなたのワークとライフをよりよく拓いていきましょう。スタッフ一同ご利用をお待ちしております!

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

